

にらのネダニ類に対する温水処理の防除効果

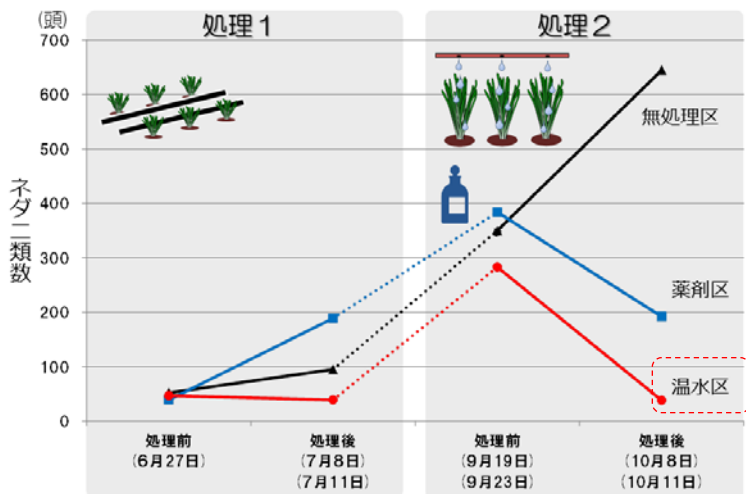
にら本ぽに50℃の温水を60分間かん注処理することでネダニ類を効率的に防除でき、にらの安定生産を実現

研究開発の背景

- ・にら産地では、ネダニ類による被害が増加傾向にある。
- ・ネダニ類に対する有効な化学農薬は少なく、生産現場では防除対策に苦慮している。
- ・にらのネダニ類を効果的に防除するための技術開発が必要である。

研究成果の内容

ネダニ類に対する温水処理は、化学農薬を使った防除よりも効果が高い。



温水処理のネダニ類に対する防除効果

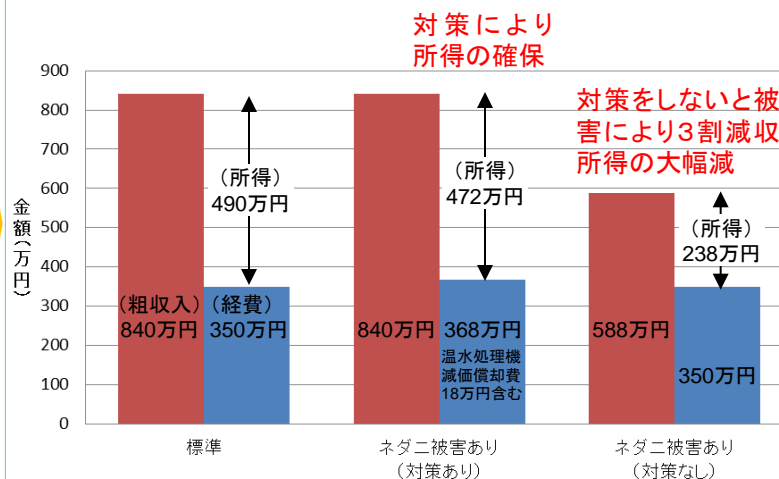
生育期間中のネダニ類に対する温水処理(50℃、60分間)は、慣行の化学農薬防除よりも効果が高い



マニュアルの作成

導入メリット

温水処理により、減収や品質低下等を防ぎ、にらの安定生産が可能となる。



* 栃木県経営診断指標をもとに試算(経営規模40a)

期待される効果

- ・化学農薬でないので栽培・収穫期間中に随時効率的な防除ができる。
- ・薬剤耐性を気にせず、何回でも利用でき、減農薬栽培等の高付加価値化が図れる。
- ・減収や品質低下を防ぎ、にらの安定生産が可能となる。

導入をオススメする対象
各都道府県のにら生産者